

味の素株式会社 2019年3月期第1四半期 決算概要①

■財務諸表・外部影響等

(単位:億円)

損益計算書	18/4-6月	17/4-6月 *2	増減額	増減率	通期 予想	進捗率
売上高	2,714	2,586	128	5%	11,840	22%
持分法による損益	17	12	5	41%	-	-
事業利益 *1	217	234	▲16	▲7%	1,030	21%
固定資産売却益	2	0	1	203%	-	-
その他	18	17	0	1%	-	-
その他の営業収益	20	18	1	10%	-	-
固定資産除去損	8	5	3	59%	-	-
その他	14	16	▲2	▲12%	-	-
その他の営業費用	23	22	1	5%	-	-
営業利益	214	230	▲16	▲7%	973	22%
受取利息	8	11	▲2	▲24%	-	-
その他	20	8	11	134%	-	-
金融収益	29	20	8	42%	-	-
支払利息	7	7	▲0	▲1%	-	-
その他	16	3	12	339%	-	-
金融費用	24	11	12	110%	-	-
税引前当期利益	219	239	▲20	▲8%	966	22%
法人所得税	59	68	▲8	▲12%	255	23%
税率	27.1%	28.4%			26.4%	
継続事業	159	171	▲11	▲6%	-	-
非継続事業 *3	1	11	▲9	▲85%	-	-
当期利益	161	182	▲21	▲11%	722	22%
親会社の所有者	137	157	▲20	▲13%	610	22%
非支配持分	24	25	▲0	▲2%	112	21%

*1 当社が経営管理のため独自に定義した利益指標。(売上高 - 売上原価 - 販売費・研究開発費及び一般管理費 + 持分法による損益)

*2 前連結会計年度において、企業結合及び共同支配企業に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

*3 当第1四半期より、物流事業を非継続事業に分類しております。これにより非継続事業からの利益は、継続事業と区分して表示しております。これに伴い、売上高、事業利益、営業利益、税引前当期利益は、継続事業の金額を表示しております。なお、対応する2018年3月期第1四半期についても同様に組み替えて表示しております。

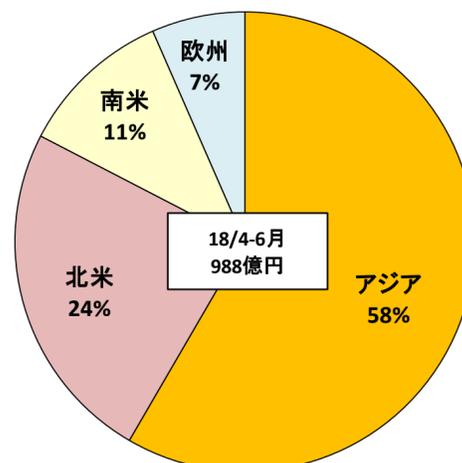
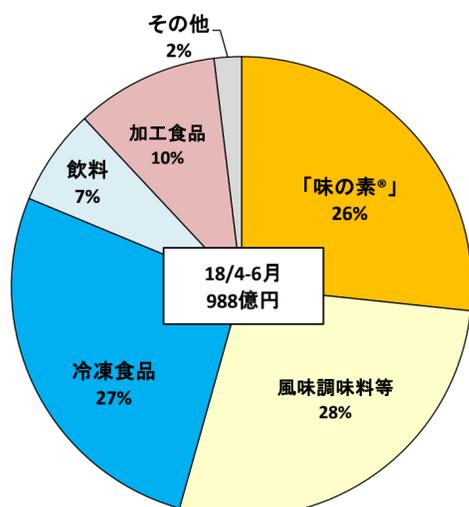
除く換算為替	18/4-6月	17/4-6月	増減額	増減率
日本食品	881	922	▲40	▲4%
海外食品	1,167	1,088	79	7%
ライフサポート	275	267	8	3%
ヘルスケア	337	247	89	36%
その他	58	60	▲2	▲3%
売上高	2,721	2,586	134	5%
日本食品	53	100	▲46	▲46%
海外食品	107	112	▲4	▲4%
ライフサポート	28	9	18	192%
ヘルスケア	20	5	14	294%
その他	9	6	2	43%
事業利益	219	234	▲15	▲6%

外部影響(対前年増減)	18/4-6月
換算為替	売上高 ▲6 ・ 事業利益 ▲1
貿易為替*	売上高 +約0 ・ 事業利益 ▲約0
日本食品原材料	+0 (調味料・加工食品 +0、冷凍食品 +0)
発酵原燃料	▲15 (主原料 ▲9、副原料 ▲4、エネルギー ▲1)
コストダウン(日本食品)	+5 (調味料・加工食品 +2、冷凍食品 +2)

*5億円単位の概数で表示

為替レート	18/ 4-6月	17/ 4-6月	FY18 業績予想
円/USD	109.10	111.09	110.00
円/EUR	130.03	122.26	130.00
円/THB	3.42	3.24	3.28
円/BRL	30.27	34.54	33.85

■海外調味料・加工食品、冷凍食品実績(構成比は四捨五入)



Five Starsおよび海外冷凍食品 売上高対前年増減率

タイ 約83億THB (LCベース+3%*, 円ベース+8%) *内訳>調味料 +4%、加工食品 +1%

インドネシア 約1兆1,943億IDR (LCベース+3%、円ベース▲3%)

ベトナム 約1兆8,817億VND (LCベース+2%、円ベース+0%)

海外冷凍食品 LCベース+13%、円ベース+12%

ブラジル 約2.5億BRL (LCベース+9%、円ベース▲4%)

フィリピン 約18億PHP (LCベース+5%、円ベース▲1%)

味の素株式会社 2019年3月期第1四半期 決算概要②

■セグメント別実績

【日本食品】 (単位:億円)

	18/4-6月	通期予想	通期進捗	17/4-6月	増減額
売上高	881	4,006	22%	922	▲ 40
調味料・加工食品	439	1,982	22%	438	0
冷凍食品(日本)	238	1,046	22%	256	▲ 17
コーヒー類	203	977	20%	227	▲ 23
事業利益	53	395	13%	100	▲ 46
調味料・加工食品	69	-	-	78	▲ 8
冷凍食品(日本)	4	-	-	26	▲ 22
コーヒー類	9	-	-	24	▲ 14
全社共通費	▲ 30	▲ 126	24%	▲ 28	▲ 1

- *1 主に家庭用の合わせ調味料が増収となるも、業務用が前年を下回って推移し、前年並み。
- *2 家庭用は、「ギョーザ」が前年同期を下回ったことに加え、「ザ★チャーハン」等の主力品の競争激化の影響等により、減収。
業務用はデザート、餃子、鶏肉加工品等のコアカテゴリーが前年並みで推移し、前年並み。よって、全体で減収。
- *3 主に市場縮小に伴う競争激化の影響を受けた家庭用製品やギフト製品、またCVS向けの減収により全体で減収。
- *4 調味料・加工食品は、家庭用は前年並みも、業務用における原燃料価格の上昇影響等により全体で減益。
冷凍食品は、家庭用の減収影響等により大幅減益。
コーヒー類は、減収に伴い大幅減益。

【海外食品】 (単位:億円)

	18/4-6月	通期予想	通期進捗	17/4-6月	増減額
売上高	1,152	4,872	23%	1,088	64
調味料・加工食品	722	3,064	23%	695	27
冷凍食品(海外)	266	1,182	22%	236	29
加工用うま味調味料・甘味料	164	625	26%	156	7
事業利益	106	466	22%	112	▲ 6
冷凍食品(海外)	▲ 8	41	-	8	▲ 16
全社共通費	▲ 37	▲ 152	24%	▲ 37	0

<調味料・加工食品 換算為替影響>

18/4-6月 売上高:▲11億円、事業利益:▲0億円

- *1 換算為替によるマイナス影響あるも(▲11億円)、調味料の販売拡大、タイにおける缶コーヒーの値上げによる増収等により、全体で増収。
- *2 北米におけるアジア製品の販売拡大や欧州の子会社新規連結影響(+約10億円)により増収。
- *3 加工用うま味調味料は主に海外における販売拡大により、甘味料は主に加工用の販売拡大により増収。
参考>加工用うま味調味料の売上高 120億円
- *4 調味料・加工食品は、発酵原燃料価格上昇の影響あるも、全体として増収に伴い増益。
冷凍食品は、主に米国における新生産体制構築に伴う生産コスト増や物流費の高騰等により大幅減益。
加工用うま味調味料は、主に発酵原燃料価格上昇の影響により減益。
甘味料は前年並み。
参考>調味料・加工食品 +11、冷凍食品 ▲16、加工用うま味調味料 ▲2、甘味料 +0

【ライフサポート】 (単位:億円)

	18/4-6月	通期予想	通期進捗	17/4-6月	増減額
売上高	276	1,285	21%	267	9
動物栄養	191	964	19%	190	1
化成品 *4	79	-	-	71	7
その他	5	-	-	5	0
事業利益	28	63	44%	9	18
動物栄養	10	18	59%	▲ 3	14
化成品 *4	27	-	-	23	4
その他	▲ 1	-	-	▲ 0	▲ 1
全社共通費	▲ 8	▲ 35	23%	▲ 8	0

*4 セグメント変更点(過去実績組替済):ライフサポート「化成品」に含まれていた「香粧品素材事業」を2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

- *1 トリプトファンが増収となるも、リジンおよびスレオニンが主に販売数量減少により減収となり、全体で前年並み。
- *2 主に電子材料の販売好調により増収。
- *3 動物栄養はトリプトファンの増収影響等により大幅増益。
化成品は増収に伴い大幅増益。

【ヘルスケア】 (単位:億円)

	18/4-6月	通期予想	通期進捗	17/4-6月	増減額
売上高	342	1,399	24%	247	95
アミノ酸	237	-	-	151	86
その他 *5	105	-	-	96	9
事業利益	19	118	16%	5	14
アミノ酸	24	-	-	9	14
その他 *5	6	-	-	4	2
全社共通費	▲ 11	▲ 43	25%	▲ 8	▲ 2

*5 セグメント変更点(過去実績組替済):ライフサポート「化成品」に含まれていた「香粧品素材事業」を2018年度よりヘルスケア「その他」へ変更しております。

- *1 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに販売拡大および子会社の新規連結影響(約+15億円)等により、大幅増収。
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +20、製薬カスタムサービス +65
- *2 主に香粧品素材や機能性表示食品の販売拡大等により、増収。
- *3 医薬用・食品用アミノ酸、製薬カスタムサービスともに、主に増収に伴い大幅増益。
参考>医薬用・食品用アミノ酸 +5、製薬カスタムサービス +9
- *4 増収に伴い増益。

【その他】 (単位:億円)

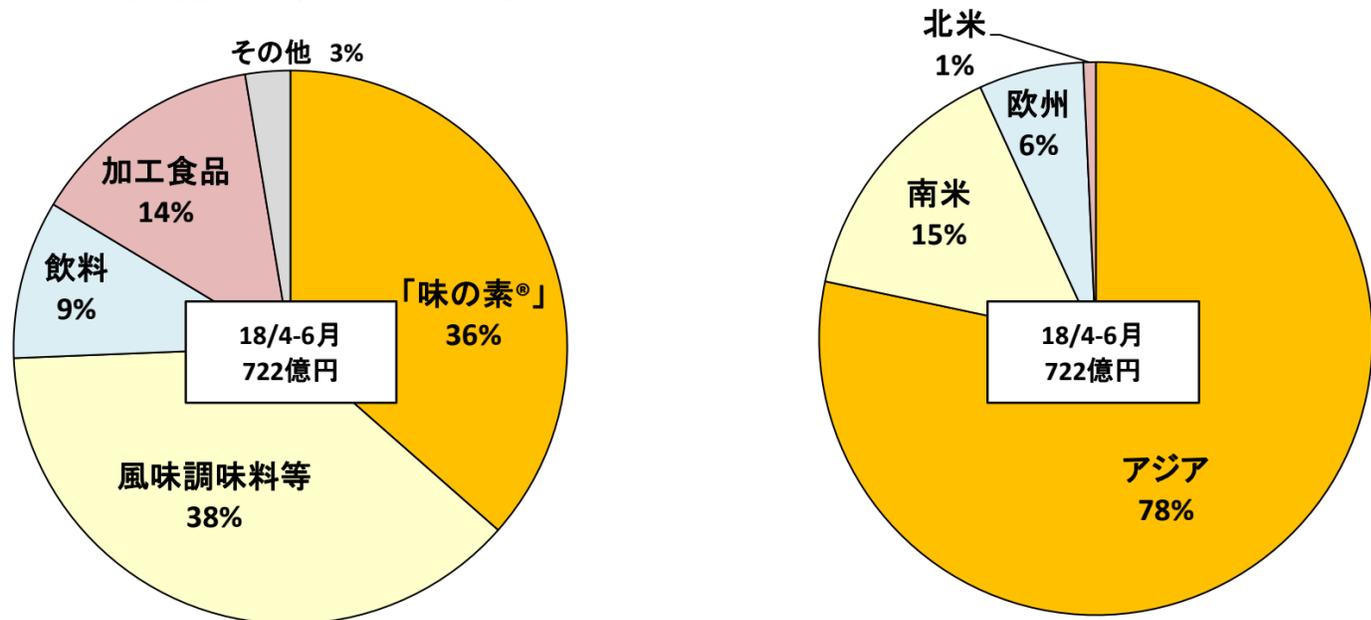
	18/4-6月	通期予想	通期進捗	17/4-6月	増減額
売上高	60	278	21%	60	▲ 0
事業利益	9	▲ 12	-	6	2
全社共通費	▲ 6	▲ 26	24%	▲ 6	▲ 0

- *1 全体で前年並み。
- *2 主に持分法利益増加により増益。

味の素株式会社 2019年3月期第1四半期 決算概要③

2018年7月31日

参考1 海外調味料・加工食品実績(構成比は四捨五入)



参考2 地域別業績

<売上高>	(単位:億円)				
	日本	アジア	米州	欧州	合計
日本食品	858 (▲44)	10 (1)	7 (1)	5 (0)	881 (▲40)
海外食品	902	8	6	4	922
ライフサポート	37 (▲0)	600 (26)	413 (24)	101 (13)	1,152 (64)
ヘルスケア	37	573	388	87	1,088
その他	84 (7)	31 (▲5)	85 (▲10)	74 (16)	276 (9)
合計	76	36	96	57	267
	131 (19)	9 (0)	72 (21)	130 (54)	342 (95)
	111	8	51	76	247
	29 (▲3)	31 (3)	-	-	60 (▲0)
	32	28	-	-	60
	1,141 (▲20)	683 (26)	579 (37)	311 (84)	2,714 (128)
	1,161	656	542	226	2,586

上段:18/4-6月、下段:17/4-6月、()内は増減額。

<事業利益>	(単位:億円)					
	日本	アジア	米州	欧州	地域外	合計
日本食品	76 (▲44)	4 (▲1)	1 (0)	1 (0)	▲29 (▲0)	53 (▲46)
海外食品	121	6	0	1	▲29	100
ライフサポート	3 (5)	116 (0)	23 (▲5)	▲1 (▲9)	▲35 (3)	106 (▲6)
ヘルスケア	▲1	115	29	7	▲38	112
その他	24 (3)	0 (▲1)	3 (10)	7 (5)	▲8 (0)	28 (18)
合計	21	1	▲6	1	▲8	9
	5 (3)	1 (0)	11 (7)	13 (7)	▲11 (▲3)	19 (14)
	1	1	3	5	▲8	5
	18 (8)	▲3 (▲6)	-	0 (0)	▲6 (▲0)	9 (2)
	9	3	-	0	▲6	6
全社共通費等	▲48 (▲3)	▲20 (1)	▲15 (1)	▲8 (▲1)	91 (1)	-
合計	▲44	▲22	▲16	▲6	90	-
	80 (▲27)	99 (▲5)	24 (13)	13 (2)	-	217 (▲16)
	107	105	11	10	-	234

上段:18/4-6月、下段:17/4-6月、()内は増減額
全社共通費等には未実現利益消去等も含む。

※ 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

※ 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
※ 本資料の金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。